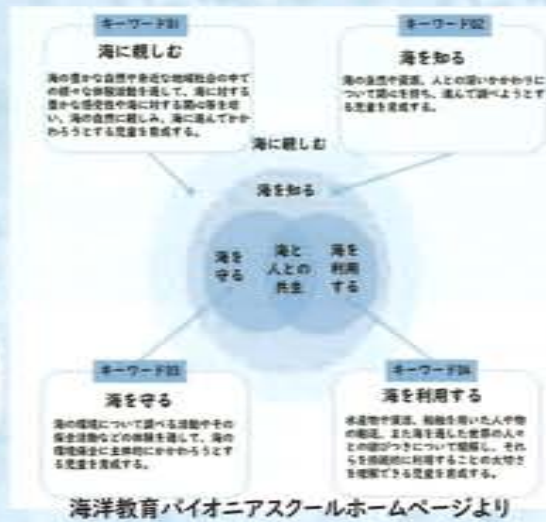


豊かな海について考える4つのキーワードは、

- ・海に親しむ
- ・海を知る
- ・海を守る
- ・海を利用する

この4つをつなぐのは、一滴の雨粒から始まり、川・海・空・山につながる「水」。内陸部の里山にある豊富地域で、水に親しみ、どんな水に関する資源があるかを知ることが海の豊かさを守る第一歩だね。

【背景写真：小赤壁公園から播磨灘を眺む】



兵庫県明石市の「望海浜（ぼうかいがはま）」で海の豊かさを守る活動をされている西谷寛（にしだに ひろし）さんから話を伺いました。

みなさんの住んでいる豊富地域は、市川や神谷川・平田川などの川や水田、ため池、神谷ダム、甲山浄水場など豊富な水資源がたくさんありますね。里山の緑もあって素晴らしい環境だと思います。私の活動している望海浜は、明石海峡大橋や淡路島がすぐそこに見える海岸です。2014年には、ウミガメが上陸・産卵しました。海の恵みを感じる、大好きな場所です。

でも、残念なことがあります。それは、本当にたくさんの「漂着ゴミ」が流れ着くことです。木切れだけではなく、ペットボトルや空き缶、スプレー缶、タイヤやサッカーボール…。毎日清掃していますが、きりがありません。姫路市や豊富町とは離れています。でも、実はみなさんの地域にある市川から流れ出たゴミも、海流の関係で望海浜に流れ着いています。なんと、岡山県や広島県、中には台湾からのゴミも見つかります。【背景写真：望海浜から明石海峡を眺む】

私の夢は、この望海浜がウミガメが安心して上陸・産卵できる場所になることです。海と川、そして空はつながっています。みんなで力を合わせ、この夢を実現したいと願っています。
～2020年11月2日 豊富小中学校5年生との学習でのメッセージより～

暮らしている海と
考えよう
播磨の海と
つながり



兵庫県水道水供給事業の一環として2000年に完成した神谷ダム。船津浄水場の水源として利用されています。



ひめじキッズページより



知ること
見える景色が
変わります



学校のすぐ横にあるため池。夏にはウシガエルの合唱。冬には渡り鳥がたくさん飛んできます。産卵のため、カメが学校に上陸していることもあります。

甲山浄水場は、市川を水源とした浄水場で、姫路市の浄水能力の約半分を担う基幹浄水場です。現在、災害発生時にも対応できる施設として新設・移転工事が進んでいます。（令和10年度供用開始予定）



↑わくわくファームでサツマイモに水やりをする子供たち。老人クラブのみなさんと、大豆や姫路木綿も育てています。

←ゆっくり、丁寧に…。レンコン畑での収穫の様子です。



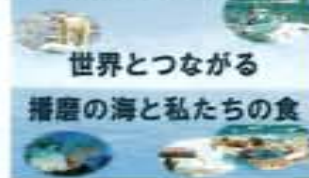
学校のすぐ横の小川にいるモクズガニ。海で生まれ、川で育ちまた海で産卵します。川と海をつないで生きています。



市川沿いに立ち並ぶ工場群。ものづくりには豊かな水が必要です。

豊富地域の水資源の一例を紹介しています。手洗い・食事・掃除・トイレなどの生活をはじめ、命をつなぐ環境として「水」は大切な存在です。一滴の水を大切にすることが、豊かな海へとつながります。

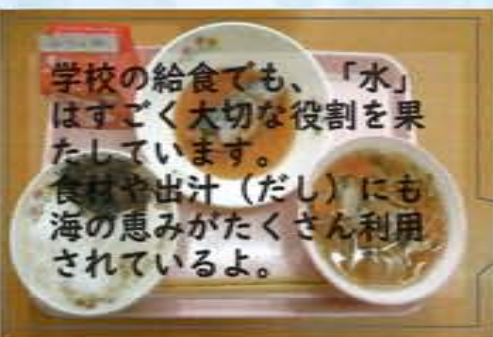
5年 総合的な学習の時間



5年生の総合的な学習では、「海洋教育パイオニアスクール」の一環として、豊富地域と播磨の海をつなぐを考えました。「豊富は海から遠いのに?」「豊富は海より山?」とはじめは子どもたちも悩んでいましたが、豊富には水に関係することがたくさんあること、その水は海につながることを知り、海についてさまざまな側面から学びを深めていきました。



それぞれの視点から課題と現状を知り、多様な専門家の方々から教えて頂きながら自分たちに何が出来るかを考えました。



学校の給食でも、「水」はすごく大切な役割を果たしています。食材や出汁（だし）にも海の恵みがたくさん利用されているよ。



魚編の漢字、読めるかな?

- ① 鯉
- ② 鱈
- ③ 鱒

豊かな海に囲まれた日本。魚編の漢字もたくさんあるね!

①イロ ②ニロ ③ウロ



書籍や新聞、インターネット等を使って調べ学習を進め、学んだこと・考えたことをもとに新聞にまとめました。そして、「自分にできること」から少しずつ始めています。

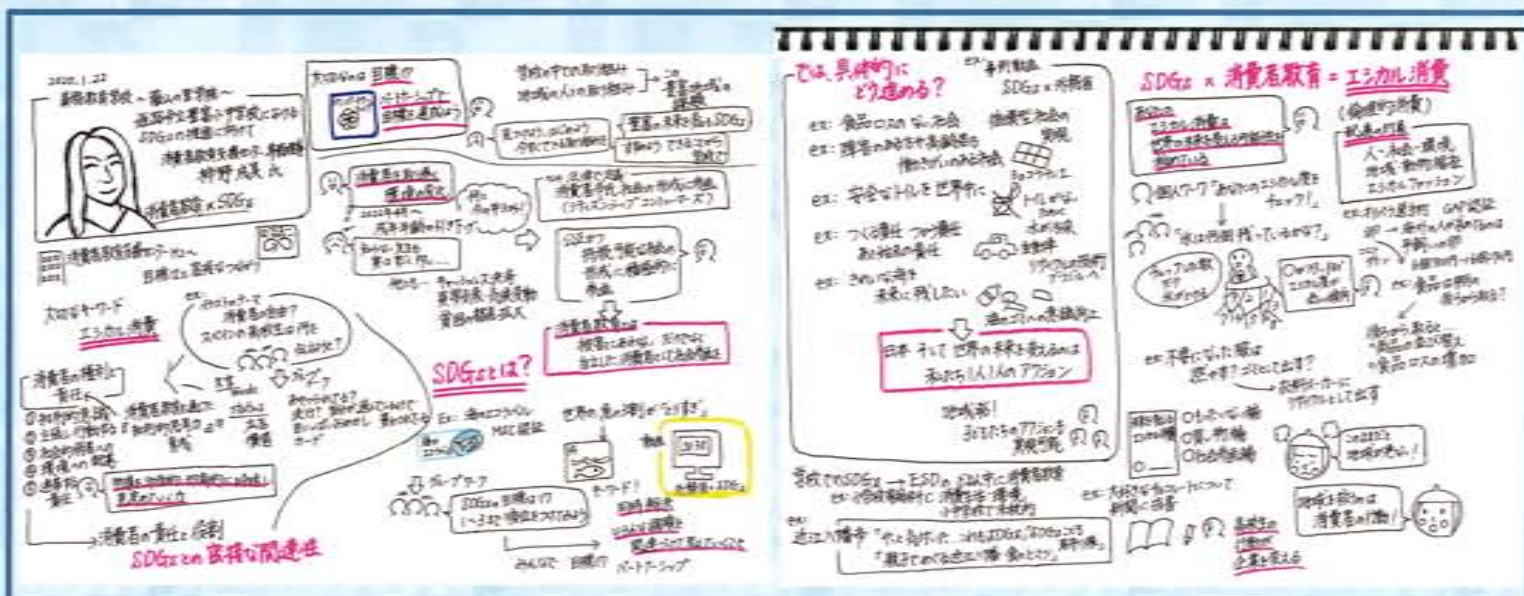
エシカル消費とSDGs

「うつくしい水」「豊かな海」を未来へ。
 キーワードは「エシカル(ethical)」。エシカルとは「倫理的な」という意味があり、「エシカル消費」とは、「よりよい消費生活をみんなで創っていきましょう」という意味に置き換えることができます。
 私たち一人一人が未来を創る主役です。小さなことでも、自分のルーティン(日常の習慣)を少し変えることで未来が変わります。「豊かな海」「うつくしい水」をみんなでつないでいきましょう!



ルーティンを
 ちょこっと変えよう
 未来が変わる

一步前へ!



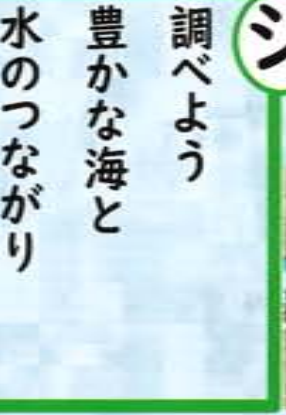
~消費者教育支援センター 柿野成美専務理事による講義・ワークショップより~

工
 鉛筆は
 どこから来たの?
 何からできてる?

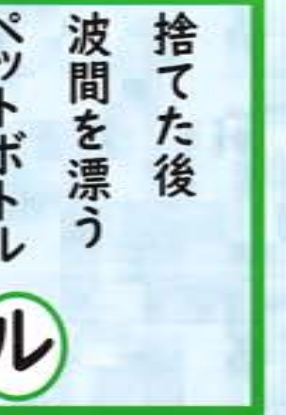


力
 買い物は
 社会とつながる
 第一歩

シ
 調べよう
 豊かな海と
 水のつながり



ル
 捨てた後
 波間を漂う
 ペットボトル



うつくしい水を未来へ

~「つくる」と「つかう」水と私たちのつながり~

海洋教育パイオニア
 スクールプログラム



と
 豊富な
 未来を創る
 私たち

里山と里川に恵まれた、自然豊かな地域の中にある豊富小中学校。
 この豊かな自然、美しい水の流れを未来につなぐために、生活の中であたりまえのように使っている「水」について一緒に考えてみませんか。大切なものは、近くに 있습니다。



学校の校章には地域を流れる3つの川と水の流れが表されています。

エピソード
 水が
 つなげる
 くらしいのち



姫路市立豊富小中学校



「海洋教育パイオニアスクールプログラム」とは、子どもたちが海にもっと親しみ、理解を深め、自分たちの力で海を守ってゆく、そんな学びを応援するプログラムです。豊富小中学校は、「里山にある学校」として、これまでの消費者教育の取り組みをもとに5年生を中心として実践を始めています(2020年度より)。

12 つくる責任
 つかう責任

発行 姫路市立豊富小中学校
 発行日 2021.3.26
 このリーフレットは、「海洋教育パイオニアスクール」の一環として笹川教育財団の助成金により制作しました。

17 パートナシップで
 目標を達成しよう

